

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金の選考結果について

令和元年6月4日

庁 議 資 料

○開催日時

令和元年5月26日(日)14時から防災センター4階会議室において開催

○選考委員

委員長 石田 寿彦

委員 愛甲 悦子、安藤 雄太、石田 琢智、内海 貴美、大塚 隆人、央戸 泉

平成31年度狛江市市民公益活動事業補助金選考団体及び選考結果

分類	団体名	事業名	事業内容	申請額	合計	順位	選考結果
チャレンジ 継続	狛江市将棋愛好会	第四回狛江市民普及振興将棋大会	歴史ある日本の文化の将棋を狛江市民に普及振興するため「第四回将棋大会」を開催し、将棋大会の参加者「老若男女」の交流親睦を図る。また、記憶力、計算力などを高める。	200,000	144	5位	¥80,000
チャレンジ 新規	こまえアレルギーの会	食物アレルギーの理解促進の場づくり	一般食品において、食物アレルギー対応商品は流通が少ないため、一般に食物アレルギー疾患者の食生活の質は低い傾向にある。さらに、外出においてはもっと厳しい状況にある。そこで、食物アレルギー対応食の事業を行い、本来ある食の楽しさを共有、共感を醸成し食生活の質の向上へ貢献することを目的とする。また、食物アレルギー対応食を製造販売する企業との協働を行う。背景として食物アレルギー対応商品は、比較的高価であり、流通が少ないため淘汰されてしまう。食物アレルギー対応食を当会の事業で紹介し、一般の方々にも商品を知ってもらう機会を設けて販売促進に貢献する。具体的には、事業結果の報告書や動画を制作し情報開示を行い、商品の価格や持続性に貢献する。	200,000	148	4位	¥150,000
チャレンジ 新規	あおぞら自主保育 狛江おひさまの会	乳幼児期の外遊び推進のための勉強会とフィールドワーク	就学前に外遊びをすることは子どもの発達に重要であるが、保護者の外遊び経験が少ないこと、外遊びに関する情報が少ないことが外遊びのハードルとなっている。この事業においては、外遊びの重要性に関する啓発、狛江市内の外遊びに関する情報共有、外遊び体験の場を提供し、参加者同士が交流する場をつくり、日常的な繋がりを目指す。	100,000	152	3位	¥100,000
チャレンジ 新規	子育ての輪	赤ちゃん広場 ～あかちゃんのわ～	0歳児の保護者の居場所づくりを目的に、地域子育て支援拠点事業実施を目指し活動している。子育てを始めたばかりの保護者の不安や孤独感を解消し、生き生きと子育て、自分らしい子育てができる環境をつくる。地域で子どもを育て、成長を見守れるような環境をつくる。「子どもと過ごすことが心地よい」と感じる保護者を増やし、子育てがしやすい環境をつくる。	50,000	162	1位	¥50,000
チャレンジ 新規	comaecolor	狛江駅前広場でのマルシェ開催プロジェクト	狛江のシンボルとなるような可能性を持つ「狛江駅前マルシェ」を開催し、狛江市内の様々な事業者出店や農産物の販売、住民交流友好都市の小菅村の特産物販売、狛江市以外の特色あるコンテンツを組み合わせることで、狛江市民には新たな魅力を感じてもらい、狛江市外へもPRし狛江市の魅力に訴求しシティセールスの一助となることを目的とする。	200,000	158	2位	¥200,000
チャレンジ 新規	狛江CSAle実行委員会	狛江CSAle	狛江市民の育てたホップを使ってビールを作るという取り組みで、市民参加型の新しい都市農業。ホップを育成することでコミュニティを造成し、出来上がったビールで市内の飲食振興をする。また、グリーンカーテンによる温暖化の抑制効果も目指す。	200,000	144	5位	¥150,000
チャレンジ 継続	狛江視覚障害者の会	ハンディチャレンジクラブ	障がい者が持つ様々な障がいを体験し理解を深めることにより、全ての人が支え合い、共に暮らせる社会の実現を目指す。2017年から実施している「この街で障がい者と共に暮らすために！」プロジェクト3年間の計画の集大成として取り組む。 市民公益活動事業補助金のご支援を受けて、2年間の活動で培った事業ノウハウを活かし、今後の安定的な開催と自立できる運営体制を確立する。	200,000	143	7位	¥200,000

総額	チャレンジ補助金 申請金額	¥1,150,000	チャレンジ補助金 交付額	¥930,000
----	---------------	------------	--------------	----------